

# 北都中学校



## Thanks Mail 正文舎印刷株

先日は、私達のキャリアスタディでわざわざ時間を作っていただきありがとうございました。正文舎印刷に行っても貴重な体験をさせていただいたり、どうやって本を作るのかを、わかりやすく説明してくれたので、とてもおもしろかったです。途中、道に迷ってしまい、社員の方に正文舎印刷まで車でつれてもらい、とてもうれしかったです。  
この経験をさまざまなところで活かして他の人から「この人ならまかせられる。」と思われるように頑張っていきたいと思えます。  
本当に、ありがとうございました。

2年 K・K



## 機械の“スピード”と“正確さ”に興味津々 本が出来上がっていく様子に感嘆の声

嗅ぎ慣れないインクの匂いが漂う印刷会社を訪れたのは男子生徒3名。午前中はパソコンで印刷物をデザインし、午後からは印刷工場の見学です。

工場の扉を開けると、そこには大きな機械が何台も並んでおり、生徒たちの好奇心が掻き立てられたようです。3人はまず、印刷機の動きを知るために、巨大なモノクロ印刷機に上ります。機械の動作は精巧で、身を乗り出して見えています。次は従業員の方に教えてもらい、インク量の調節や印刷枚数を設定します。ワクワクしながら操作ボタンを押してみると、数百枚が瞬時に刷り上がりました。その速さに

驚き、少し戸惑ったようです。「機械は設定通りに動くので、操作を間違えたら大変。慎重にやらなければと思った」と、生徒の1人が話してくれました。

続いて、刷り上がった紙をページの順に並べ、本に仕上げる製本の見学です。製本の工程は複雑かつダイナミック。断裁という最後の工程で、分厚い紙の束が大きな刃でパッサリと切り落とされると、その迫力に生徒たちから「うわ〜」と声が上がりました。「本作りがこんなに複雑だとは思わなかった」「本の背をホチキスで綴じる機械の素早さと正確さに驚いた」と、弾んだ声で話しています。身近な印

## 正文舎印刷株

刷物の製造現場を見て、新たな知識と経験を得た1日でした。



## 聴診器で聞いた命の響きに感動! “夢”に一歩近づいた日

### 高橋動物病院

5階建ての動物病院に「動物関係の仕事に就きたい」「犬が好き」と話す男女2名の姿がありました。初めて白衣に袖を通し、少し照れた表情です。

院内見学の後、診察を体験します。「目に充血はないか、歯茎の色は正常か、耳の中はきれいかを見てください。動物には両手で触ってくださいね」と言う先生の言葉にうなずき、ラブラドルレトリバーのサンタに恐る恐る手を伸ばします。2人とも大型犬に触るのは初めてで、表情はやや強ばり気味。ぎこちない手つきの触診でしたが、サンタはいやがることもなく静かにしています。続いて、聴診。聴

診器でサンタの心音を聞き、ドクドクッと響く力強い鼓動に「音が大きすぎて驚いた」「感動した」と、目を輝かせていました。

次は、スモックと長靴を付け、シャンプーに挑戦です。「髪を洗うようにゴシゴシ洗ってください」と教えられますが、生徒たちの手に力が入っていません。そんな彼らにスタッフさんは「力を入れても大丈夫。おとなしい犬だから安心して」と、声をかけてくださいました。適度な力加減を探りつつ、黙々と手を動かす生徒たちの目はとても真剣でした。

憧れの仕事の難しさ楽しさを、垣間見ることができた1日。小さ

いながらも夢へと向かう確かな一歩を踏み出したことでしょう。



## “いい写真を撮りたい!” カメラの心地よい重さに胸を高鳴らせて...

### (有)札幌映像社

「写真が前よりもっと好きになった」と笑顔で話す4名の男子たち。その中には「カメラマンになりたい」と話す生徒もいます。

彼らが訪れたのは、卒業アルバムでもお世話になっている撮影スタジオです。早速社長さんに写真を撮っていただき、リラックスしたムードで体験が始まりました。けれども、2人一組で互いの証明写真を撮り始めると、初めて触るプロ用のカメラに「仕事で使う高価な機材だから丁寧に扱わなくちゃ」と真剣な表情が変わります。

次は、各自が被写体を自由に選び、作品撮影にチャレンジです。プロ用カメラの重さを心地よく感じ

ながら、被写体との距離やアングルを工夫し、「とにかく楽しい!」「ファインダーを通して見ると、何気ないものもきれいに見える」と、夢中になってシャッターを押していました。

撮影後は、撮ったばかりの力作を出力してフォトブックの編集です。これは「職場体験の記念」というスタッフの方々のご厚意による企画。1人1冊、自分の作品のアルバムを今日の思い出として持ち帰ることができます。4人は配置のバランスを考えながら写真を台紙に貼り、タイトルや説明文を添えていました。写真の楽しさを改めて感じながら作った渾身の作品

集は、最高の宝物となることでしょう。





# 南郷小学校



## Thanks Mail

リサイクルと環境雑貨の店  
ワーカーズコレクティブ  
えこふりい

白石でっちな奉公で私たちが楽しかったことは、レジうちです。たなについている数字を打ち込むので、少しむずかしかったです。さくら放送で、商店街に放送をかけた時はマイクでいろいろ話したので、緊張しました。

いろいろ教えてくれて、ありがとうございました。

最後にお店の人と一緒に食べたおかしもおいしかったです。

5年 A・I



## 蒸しパン作りから、 ものづくりの楽しさ学ぶ

レジの手伝いや商品包装のシール貼りなどを終えて、いよいよ2人の女子児童が楽しみにしていた蒸しパン作りが始まります。エプロンに帽子、マスク姿で厨房に入ると、ちょっぴり緊張した空気が漂います。

絞り袋から生地をカップに流し込む作業は、分量を正確に量ることがポイント。2人はキッチンスケールとにらめっこしながら、慎重な手付きでぴったりのグラム数を絞り出します。「上手だね」とスタッフの方に声をかけられ、満足げな表情を浮かべていました。

好きな材料を選べるオリジナルの蒸しパン作りで、「パパがあん

こ好きだから」とこしあんを選んだ女の子は、「出来上がったら、家族みんなで食べたい」とうれしそうです。

スタッフの方に「おうちでよくお手伝いをしていると言うだけあって、飲み込みが早く、手付きが慣れている」とほめられ、それまで緊張していた空気も和やかになりました。蒸し器にせいろを乗せると、率先して調理台を片付け始める2人に、「黙っていてもお片付けをしっかりする」と、スタッフの方も感心していました。

「思ったほど難しくなくて、とっても楽しかった」と言う児童たち。蒸しパン作りを通じて、ものづくり

## ミスタームシパン 白石本郷店

の楽しさに触れた時間でした。



## 女の子のセンスを発揮 “店頭ディスプレイは任せて!”

「これはどう?」「うん、かわいいね」と相談しながら、ぬいぐるみや写真立てなどを選び出す女子児童2名。店頭ディスプレイを任せられ、店内から目を引く商品を探してディスプレイ用テーブルに並べます。女の子らしい雑貨が並ぶと、店員さんから「かわいくできたね」と声がかかり、誇らしげに微笑みます。

2人が体験に来た「えこふりい」は、リサイクル品や環境に優しい商品、手作り品などを扱うお店。「学校帰りに店の前を通って、この店が気になっていた」と言う2人は、「お母さんがリサイクルショップに勤めていた」「学校でごみや

リサイクルについて学んだ」と、エコにも関心を持っています。店内は、リサイクルの衣類や靴、食器など多彩な品揃えで、2人は「本もある!」と驚いていました。

続いてレジを体験。リサイクル、環境雑貨、委託品と、品物の種別を区別して打ち込むのが難しく、「お金を扱うから間違ったら大変。怖かった…」とドギマギしながらの対応でした。

「マネキンのディスプレイもやってみたい」と2人がお願いすると、「やってもいいよ」と店員さん。その声を聞いた途端に「やったあ〜!」と飛び跳ねて喜ぶ2人。自分なりに工夫して商品をディスプレ

## リサイクルと環境雑貨の店 ワーカーズコレクティブ えこふりい

イする仕事は、とても楽しい体験になったようです。



## 地道な作業に肉体労働。 学校の図書委員よりも大変!

女子1名、男子4名がやってきたのは東札幌図書館。通学区域から少し遠いため、「ここに来るのは初めて」と言う児童たちがほとんどです。

返却作業では、どこにどんな本があるのかがわからず、館内をあちこち探し回りながら、本を棚に戻します。学校で図書委員をしている児童は、「大人と子どもの本があり、数が多くて分類も学校より細かい」と、いつもと勝手が違うようです。特に大人の本は、作者ごとに五十音順に並べられており、難しく読めない字もあります。そんなときは、背表紙にあるラベルの請求番号を手掛かりに探し出します。

「予約されている本を探すのが大変だった」と、座り仕事のイメージがある図書館が、実は体力を使う職場だと実感した児童もいました。

職員の方が大切な仕事のひとつと考えているのが、所定の位置に本を戻す整理作業。「利用者の方だけでなく、職員が予約された本を探しやすくするためにも、時間があれば毎日やっている」そうで、図書委員の児童は「自分から進んで本の整理をしていた」とほめられる場面もありました。

「立ちっぱなしで肉体労働」と言う職員の方の言葉にも、「地道な作業が好きだから、将来は図書館で働いてみたい」と答える男の

## 札幌市東札幌図書館

子もいて、貴重な体験になったようです。

